

# 平成27年度事業計画書

公益財団法人三溪園保勝会

## 三溪園の事業の基本理念

三溪園は、明治39(1906)年に実業家・原三溪が、自然や文化財は共有財であるという考えから、自邸を広く一般公開したことに始まります。三溪が庭園、そして蒐集した歴史的建造物や美術品を公開したことにより、結果として三溪園は単に行楽の地にとどまらず、日本文化の保護や育成・啓蒙、そして新たな文化の醸成を生むことにもつながりました。本財団では、三溪の遺志、そして三溪園が果たしたこうした役割を受け継ぎ、次のような定款を掲げ、三溪園の管理・運営を行っています。

「国民共有の文化遺産である重要文化財建造物等及び名勝庭園の保存・活用を通して、歴史及び文化の継承とその発展を図り、潤いある地域社会づくりに寄与するとともに、日本の文化を世界に発信する」

平成27年度も引き続きこれに基づき、また横浜市との新たな協約により設定した目標値(※)の達成をめざし、次のとおり事業を行います。

※目標値 下表のとおり。

協約事項	27年度	28年度	達成目標値(29年度)
① 入園者数の増	① 438,900人	① 460,845人	① 485,000人
② 外国人入園者数の増	② 31,020人 (※見込)	② 34,122人 (※見込)	② 38,000人
事業収入(寄付金を含む)の増	269,000千円	279,000千円	290,000千円
庭園ボランティアの活躍の場の提供及び機会の拡大	延べ690人	延べ720人	延べ750人

## 平成27年度の主な事業

### 公益目的事業

#### 1 庭園および歴史的建造物の公開と、それを活用した日本の伝統・文化の紹介

園内に点在する17棟の歴史的建造物と四季折々に移り変わる自然が調和した庭園を常時公開するとともに、来園の動機作り、また施設自体や日本の伝統文化や季節感に触れ、親しんでいただくことを目的として、年間をとおして様々な催しを行います。

##### (1) 園内の季節の花や風物を楽しむ催し

観桜の夕べ	3月28日(土)～4月5日(日)	
蛍の夕べ	6月6日(土)～14日(日)	
早朝観蓮会	7月18日(土)～8月9日(日)の毎土曜・日曜・祝日	
観月会	9月25日(金)～29日(火)	
観梅会	平成28年2月13日(土)～3月6日(日)	

##### (2) 日本の伝統園芸文化の紹介展示

さくらそう展	4月16日(木)～22日(水)	共催：横浜さくらそう会
さつき盆栽展	5月24日(日)～6月7日(日)	共催：横浜三溪園臯月会
朝顔展	8月5日(水)～9日(日)	共催：横浜朝顔会
菊花展	10月26日(月)～11月23日(月・祝)	共催：横浜菊花会、小菊盆栽芸術協会会長生会
盆栽展	平成28年1月10日(日)～24日(日)	共催：横浜三溪園臯月会

##### (3) 歴史的建造物の公開

新緑の古建築公開 — 原三溪こだわりの数寄の建築 重要文化財 臨春閣、蓮華院  
4月29日(水・祝)～5月6日(水・祝)  
三溪園で楽しむ夏休み — 横浜市指定有形文化財 鶴翔閣公開  
8月8日(土)～16日(日)

紅葉の古建築公開 ― 亭(ちん)と茶室 重要文化財 聴秋閣、林洞庵

11月21日(土)～12月13日(日)

三溪園で過ごすお正月 ― 鶴翔閣内部特別公開

平成28年1月元日(金)～3日(日)

#### (4) その他

フォトコンテスト

9月上旬審査・10月3日(土)表彰式

俳句展(協力:横浜俳話会)

平成28年3月16日(水)～5月下旬

## 2 庭園および歴史的建造物の維持・管理

庭園および園内に点在する17棟の歴史的建造物は、三溪園の施設でも最も根幹となる要素であり、永久的な保存を前提に継続的な管理を要します。これにあたっては、庭園・建築・歴史・植生・地盤工学の各分野の有識者で構成される名勝三溪園整備委員会の指導と助言により、修復・整備の年次計画を策定しており、今年度もこれに基づき進めます。

### (1) 植栽の整備

植栽整備調査設計に基づき、名勝三溪園整備委員会の指導・助言を受けながら、園内の植栽整備を行います。

### (2) 名勝整備事業の中間報告書の作成

平成20年度から国庫補助等により実施してきた、名勝三溪園保存修理事業の中間報告書を、3ヵ年計画でまとめます(本年は2ヵ年目)。

### (3) 庭園の日常的環境整備

来園者が気持ちよく観覧できるよう、苑路の不陸・段差整備、花木の育成・剪定、庭園諸施設の更新・整備、構築物の小破修繕等日常的な環境整備を行います。

### (4) 重要文化財 春草廬の修理

前回の葺き替えから20年が経過し耐用の限界を迎えている、春草廬の柿葺屋根全面の葺き替えを行います。また、耐震改修促進法による指針に基づき耐震診断を行い、結果により必要な構造補強を施します。(※国庫補助事業として実施)

### (5) 園内全域の地盤調査【新規】

今後責務となる重要文化財建造物全10棟の耐震化対策の基礎的データを得るため、園内全域の地盤調査を行います。(※国庫補助事業として実施)

### (6) 重要文化財建造物保存修理計画の策定【新規】

前述の耐震化対策と合わせ、今後の文化財建造物の修理、維持管理の指針とするため、園内の重要文化財建造物の保存修理計画を策定します。

### (7) 白雲邸倉の改修

白雲邸の倉は大正10年建造の鉄筋コンクリート造で、個人住宅では横浜市内で最初期の作例にあたります。壁面を黒タイル張りとし、底を支える金具や窓枠の化粧など外観上のデザインの秀逸性はもちろん、躯体内部には異形鉄筋を配するなど構造上も注目すべき点を数多く残す貴重な建物です。平成15年横浜市有形文化財に指定されていますが、近年経年劣化が顕著となったため、昨年度から保存修理工事に着手しました。

本年度は2ヵ年計画の最終年度として、9月の完成を目標に構造補強、屋根の葺き替え、外壁タイル補修等を行います。

### (8) 白雲邸主屋の整備

倉の改修と合わせ、隣接する白雲邸主屋についても利活用の幅を拡大するため、貧弱な水回りやトイレ、照明、備品等を中心に整備します。

### (9) 日常の維持管理

歴史的建造物を良好に維持するため、日常的にメンテナンスを行います。特に栓皮茸、茅葺など植物性素材の屋根をもつ建物については、専門業者への委託による軒樋・屋根の定期的清掃が必要となります。障子・襖の張替え等も適宜行います。

### 3 原三溪および三溪園に関する美術品、資料等の収集、保存および活用

歴史的建造物付属の障壁画など三溪園ゆかりの美術品や資料を収蔵・展示する三溪記念館は、園の歴史や価値を紹介し、発信する重要な拠点の一つです。また、旧矢筈原家住宅でも、かつての飛騨地方の生活文化を伝える貴重な民俗資料群を有しています。いずれも良好な状況で保存するとともに、公開・活用します

#### (1) 美術品等の収集

展示活動の充実を図るため「三溪園美術品等の収集方針」および「三溪園美術品等収集に関する要綱」に基づき、対象物件が出た場合には専門分野の有識者で組織する収集委員会を開催し、その収集価値について審議します。

#### (2) 所蔵品の整備等

##### (ア) 三溪記念館および収蔵庫の整備

収蔵する美術品等を良好に保存するため、収蔵庫および記念館の環境調査および除塵防黴施工を行います。

##### (イ) 所蔵品の整理

未整理資料類のクリーニングおよび整理、リストを作成します。

##### (ウ) 所蔵品の修理

所蔵する美術工芸品のうち経年等により劣化したもの、または近年受贈したものの汚れや破れ、欠失などがあり、そのままでは展示に耐えられないもの等を修理します。

#### (3) 旧矢筈原家住宅（合掌造）の民俗資料調査

昭和35年の移築にあわせて飛騨地方から集められた1,000点余の民俗資料を、外部専門家の協力を得て再調査および再整理を行い、データベースを作成します。

#### (4) 三溪記念館空調機器の保守

緊急性の高い中央監視盤の更新を実施します。また、平成28年度実施の冷温水発生器、熱源増設工事の大規模改修に向けての準備をします。

#### (5) 三溪記念館での展覧会の開催

##### (ア) 常設展（9回開催）

創設者原三溪に関する資料、三溪自筆の書画、ゆかりの作家作品や美術工芸品、臨春閣・月華殿障壁画など、所蔵する作品の中から季節ごとにテーマを決め、常設展示します。

##### (イ) フォトコンテスト入賞作品展 10月3日(土)～12月15日(火)

フォトコンテストに応募された中から、三溪園の魅力を伝える優秀作品を選び展示します。

#### (6) 所蔵品の貸出

他館開催の展覧会に所蔵品の貸出を行います。

##### ● 貸出予定(平成27年3月1日現在)

「日韓近代美術家のまなざし『朝鮮』で描く」	4月～平成28年2月	美術連絡協議会(※)主催
「御舟とその周辺」	5月2日(土)～7月5日(日)	世田谷美術館
「富士山—信仰と芸術—」	9月～11月	静岡県立美術館・山梨県立博物館
「橋本雅邦と幻の四天王」	10月31日(土)～11月29日(日)	松本市美術館
「中島清之展」	11月3日(火・祝)～平成28年1月11日(月・祝)	横浜美術館
「安田鞞彦展」	平成28年3月23日(水)～5月15日(日)	東京国立近代美術館

(※) 美術連絡協議会：神奈川県立近代美術館 葉山・新潟県立万代美術館・岐阜県美術館・北海道立近代美術館・都城市立美術館・福岡アジア美術館

### 4 ボランティア活動の整備・充実

横浜市との協約により設定した設定値をめざし、ボランティアの活躍の場を提供し、さらなる充実を図ります。

- ボランティア登録者： 190名(平成27年3月1日現在)  
(内訳) ガイド・インフォメーション107名、合掌造り管理運営40名、  
庭園保守管理78名 (※重複登録あり)

## 5 地域や他機関との連携や市民協働による事業、学校利用受け入れの推進

地域や他機関、市民、学校との相互協力、連携、協働により、本園単独では難しい新たな客層の取り込みや施設の整備、イメージや魅力の創出をねらいます。

### (1) 地域、市民との連携、協働

本牧桜まつり(本牧地域)	3月～4月
本牧かぼちゃまつり(本牧地域)	10月
中区えほんフェスティバル(中区)	7月～8月
横浜と原三溪クイズラリー(原三溪市民研究会)	4月～5月

### (2) 他機関との連携

My茶碗で、Myお茶会(横浜市陶芸センター)	7月
横浜ひなめぐり(横浜人形の家、根岸なつかし公園旧柳下邸)	平成28年2月～3月

### (3) 行政との連携

夏休みこどもアドベンチャー	8月
クラシック横浜(横浜市文化観光局)	11月～12月
フォト・ヨコハマ(横浜市文化観光局)	平成28年1月～3月

### (4) 学校との連携、利用受け入れ

庭園管理作業(植栽の剪定や下刈り作業、竹垣の修理など)の一部を実技研修の場として提供(造園系専門学校や大学)

市内小・中学校が実施している校外授業等の受け入れ(入園料を免除)

## 6 歴史的建造物の貸出

重要文化財を含む歴史的建造物9棟を茶会や句会、演奏会などの公益的・文化的な目的の使用に貸し出します。また、横浜市のMICE推進に協力し、定款に掲げる使命に反しない範囲で、アフターコンベンションプログラムの会場としての利用も図ります。

※鶴翔閣は主として収益目的での利用を対象としますが、公益目的にも優先的に貸し出しを行っています。

また、創設者 原三溪が行った作家支援の事績にならい、閑散期に旧燈明寺本堂の建物を中心に若手作家に発表の場として提供し、今後の利用促進と来園者誘致を図ります。

- 茶会・句会以外のおもな利用
 

鎌倉彫作品展(※若手作家による作品の展示)	5月	来場予定者数	約800名	(旧燈明寺本堂)
LOTUS YOKOHAMA(※伝統文化体験)	9月	来場予定者数	約300名	(会場未定)

## 7 営業および広報活動

施設単独のほか、他機関との共同・連携により、施設の情報や魅力の発信・提供の機会を作り、営業・広報を行い、施設の認知度を高め集客に努めます。

また、来園者の利便性と満足度の向上を図ります。

### (1) 営業活動

#### (ア) 旅行会社への営業

送客頻度の高い日帰り圏内を中心に、北陸新幹線や上野東京ラインの開通で旅行意欲が高まっている方面や、世界遺産・富岡製糸場と本園のつながりを生かした営業にも注力します。また、より効果的な送客をねらうため他の観光施設との合同営業や、旅行会社を招聘した商談会等にも積極的に参加します。

#### (イ) 観光・MICE企画業者への営業

企業等の会議(Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行(インセンティブ旅行・

Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議(Convention)、展示会・見本市、イベント(Exhibition/Event)といった大きな集客が見込まれる機会に向けて営業を行います。

**(ウ) 市内領事館等関係者へのアプローチ【新規】**

市内にある各国領事館等関係者に施設を紹介することにより、海外への認知度を高め、集客につなげます。

**(2) 広報活動**

**(ア) ホームページ、SNSの活用【拡充】**

現状のホームページを継続して活用していくほか、『横浜市観光情報公式サイト』や関連のFacebookやtwitter、『Eventbankー全国イベント情報システム』、『ヨコハマ・アートナビ』、『MAGCUL.NETー神奈川県発カルチャーサイト』等、観光情報を発信する既存サイトやSNSとの連携・活用による情報発信についても検討します。

**(イ) メディア等への積極的な情報発信**

主なイベントの開催にあわせ、市内外のメディアに対し、積極的に情報を提供し、露出の機会拡大を図ります。

**(ウ) 広告掲載、他機関事業協賛**

ガイドブックや航空会社機内誌等、特に有効と考えられる有料広告への出稿や、持ち込み企画など他機関事業とのタイアップ等を積極的に行い、話題性、露出の機会拡大を目指します。

**(エ) リーフレット、ポスター、チラシの作成と配布・掲出**

5言語(日本語・英語・簡体字・繁体字・韓国語)での施設案内や、年間行事案内(花と行事)のリーフレット、主要なイベントや花の開花時期にあわせ、ポスター・チラシを作成し、配布・掲出を行います。また、前年度増刷した『四季の三溪園』を紹介する4連イメージポスターを海外キャンペーン等の際に提供します。

**(オ) 入園割引券作成・配布**

市内施設や誘客・集客キャンペーン、観光フェアなどで入園券割引券を配布することにより、来園の効果的な動機づけをねらいます。

**(カ) 招待券、ノベルティグッズ、PR素材の開発・配布**

国内外の重要人物の三溪園視察時や営業先への訪問時、取材対応時、プレゼント企画などに進呈・提供することにより、園への送客促進やイメージアップを狙います。

**(キ) 客船寄港時の乗船客・乗組員の誘致【新規】**

国内外の旅客船の横浜入港時に、三溪園への来園・利用を促進するしくみ作りを検討するとともに、日本文化を感じさせる三溪園らしい記念品の開発・販売に着手します。

## **8 利便性と満足度の向上**

来園者の利便性と満足度向上に向けた環境整備を行います。

**(1) Wi-Fi利用環境の整備【拡充】**

園内でインターネット等の利用が無償で受けられる環境を整備しました(平成26年度着手)。今年度は、利用エリアの拡大検討など、Wi-Fi利用環境のさらなる向上を目指します。

**(2) ボランティアの協力による園内の環境整備【拡充】**

増加傾向にある外国人入園者に向けて英語でのガイドサービスを充実します。

**(3) 利用設備・備品**

老朽化したトイレの順次更新や車椅子、雨傘・日傘の無料貸与を継続実施します。

**(4) アンケート調査【拡充】**

主要な催し(年8回程度)について、開催時にアンケート調査を行い、ニーズを探るとともに利用者の観点に立ったイベントの再検討や新たな企画の参考として役立てます。また、外国人入園者に対するアンケート調査の導入(英語アンケート等)を検討し着手します。

## 9 寄付受け入れのシステム構築検討【拡充（※一部新規）】

三溪園の管理運営の資金獲得のため、寄付の受け入れ体制の検討を行います。また、寄付金付き記念品(オリジナルポストカード等)の開発、販売に着手します。

## 10 次世代育成(クリエイティブチルドレン等)および学校への利用促進の働きかけ

現状、シニア層に偏っている利用者層の拡大と、将来に向けた利用者の確保を目的として、継続して若い世代への来園意欲の動機付けやきっかけを作るとともに、教育機関へ利用促進を目的とした働きかけを行います。

### (1) 若年層への働きかけ

季節を通じて開催する各催しの関連事業に、若い世代も楽しめる内容を盛り込み、参加を促し来園の動機づけを行います。

### (2) 教育機関への利用促進の働きかけ

学校教育での利用促進を図るため、教職員の施設認知(校長会・副校長会への情報提供等)を高め、利用環境や人的体制などの整備を検討します。

また、夏休み期間に市内小学生の入園料を無料とする「こどもパスポート」についても継続実施し、市内小学校を通じて配布します。

そして大学生については、博物館実習生の受入を行い、研修の場を提供します。

## 11 入園料、使用料等料金の見直し

現在設定している三溪園入園料の中で、市内65歳以上に対して実施している「濱ともカード」提示による無料優待の有料化や、施設の使用料(平日・休日や季節による設定額の変更等)について、来る消費税増税のタイミングでの改定を視野に入れながら見直し、改定の検討を行います。

## 12 その他

経費の節減および収入源の創出のため、展示施設の部分閉室、余剰施設の利用検討、新たな催事の開拓にも取り組みます。また、現在実施している種々の利用について、実情に沿った受け入れの見直しを行い、円滑で公益性に適った環境を整えます。

## 収益目的事業

### 1 三溪園駐車場の管理運営

#### (1) 乗用車

2時間まで500円、以降30分ごとに100円、当日1000円を上限額とします。

#### (2) バス

1台1回につき1,000円

### 2 抹茶の提供

三溪記念館ロビーに設置している茶席 望塔亭で、裏千家、表千家、江戸千家の三流派の協力により、菓子付きの抹茶を有料で提供します。

- 1服500円 (※利用者の要望により、点前のデモンストレーションも行います。)

### 3 記念品・土産品などの販売

三溪記念館エントランスに設置しているミュージアムショップで、次の品目を販売します。

- 絵はがき、写真集、落雁・煎餅などの菓子類、織物・陶磁器製品、三溪園に関する書籍等

#### 4 茶店(売店)の賃貸

来園者の利便に供するため、園内3軒の茶店を次のとおり賃貸します。

- 待春軒、三溪園茶寮、雁ヶ音茶屋

#### 5 庭園および歴史的建造物の貸出

横浜市指定有形文化財 鶴翔閣については、園内の他の貸出建造物とは異なり、利用目的の範囲を広く設定し、公益目的以外の展示会や披露宴、撮影会、販売会、プレゼンテーションなどの利用に供します。また、庭園についても一般来園者の観覧に支障の無い範囲で、ドラマやCF、ウェディングの撮影等に貸し出します。

- 鶴翔閣利用予定イベント（平成28年3月現在）

日本の夏じたく展(作家による作品の展示・販売)      5月      来場予定者数 約800名

#### 6 天候に左右されない施策の検討【新規】

観桜の夕べ、観月会など四季の移ろいを楽しむ行事が大きな集客につながる三溪園では、これまで天候の影響により入園者数が大きく左右されてきました。

今年度は、鶴翔閣等の平日利用の促進策として、ビジネスユース（会議や展示会等）の提案、用途別・曜日別の料金設定や、集客が見込める著名人による催し等への協力や連携などを天候に左右されない施策として検討し、着手します。